

3 OJT 実践の振り返り

OJT 実践内容

「館小 OJT 実践開始」 (H26.7 月実施)

振り返り方法と留意点

OJT 実践シート

- ・ 館小学校版 OJT 実践シートを配布。
- ・ OJT スタートにあたり、目標と O J T 推進計画を記入。

目標については、「仙台版・生き生き教員づくり」を参考にする。

「O J T 推進計画」については、「同僚から学びたいこと」「自分から同僚に働きかけたいこと」について、「いつでも」「どこでも」若手の育成だけでなく全職員の学び合という視点から記入する。

館小学校OJT実践シート

作成日26年7月29日 職名 教諭 氏名

1 私の目標 - 「仙台版いきいき教員づくり ～求められる教員の姿～」から -

- ・ 同僚の立場を理解し、経験を生かした指導・助言を導んで行うようにする。
- ・ 目的や内容に応じて指導技術や指導形態を工夫して、効果的な指導をする。
- ・ 自分づくり教育の中小連携の年間指導計画を考える。

2 私のOJT推進計画

◎OJT (同僚間の教え合いや学び合い)	自己チェック
同僚から学びたいこと	9月 12月
・ 指導や助言の効果的な仕方	B B
・ 教育機器を生かした効果的な指導方法	B A
・ 自分づくり教育の情報	C B
自分から同僚へ働きかけたいこと	9月 12月
・ 若い先生へ基本的な生活習慣・学習の基礎の指導方法について助言する。	A A
・ 同僚が困っていることや不安に思っていることについて、適切な助言をする。	A A

3 OJTを振り返って(12月に記入)

- ・ 並登研修・自主的な研修のどちらからもいい刺激を受けことができました。冬休み明けの毎日の実践に可能な限り取り入れていきたい。
- ・ 先生方の授業を参観することは自分の指導を振り返って反省する材料になることが最大のメリットであるが、焦点を絞って話し合う検討会でも様々な意見や改善点が出されて興味深い。

4 来年度のOJTについて(12月に記入)

同僚から学びたいこと	自分から同僚に働きかけたいこと
目的や内容に応じた教育機器を生かした効果的な指導方法	同僚の立場を理解し、経験を生かした指導・助言を導んで行うようにする。(生徒指導、親への対応等)

館小学校版 OJT 実践シート

- ・ 自己チェック欄を 2 回 (9 月と 12 月) に記入することを確認。
- ・ 12 月に、「OJT を振り返って」「来年度の OJT について」を記入することを確認。「OJT を振り返って」では、校内研究による OJT、学年会による OJT、悉皆や自由参加の校内研修による OJT 等において学んだこと、考えたことなどを書く。来年度「同僚から学びたいもの」「自分から同僚に働きかけたいこと」のらんは、教育目標の具現化という視点から記入する。

- ・ 自分自身の目標設定、OJT の意識化、振り返りには、とても有効である。
- ・ 来年度の OJT について記入することで、次年度の OJT につなげることができる。
- ・ 年度途中から O J T の土台作りに取り組んできたので、教育目標の具現化という視点までは、十分に浸透しきれなかった。来年度は、5 月はじめまでに実施していく必要がある。

OJT 実践内容

「付せん紙で簡単振り返り」

(H26.8月以降実施)

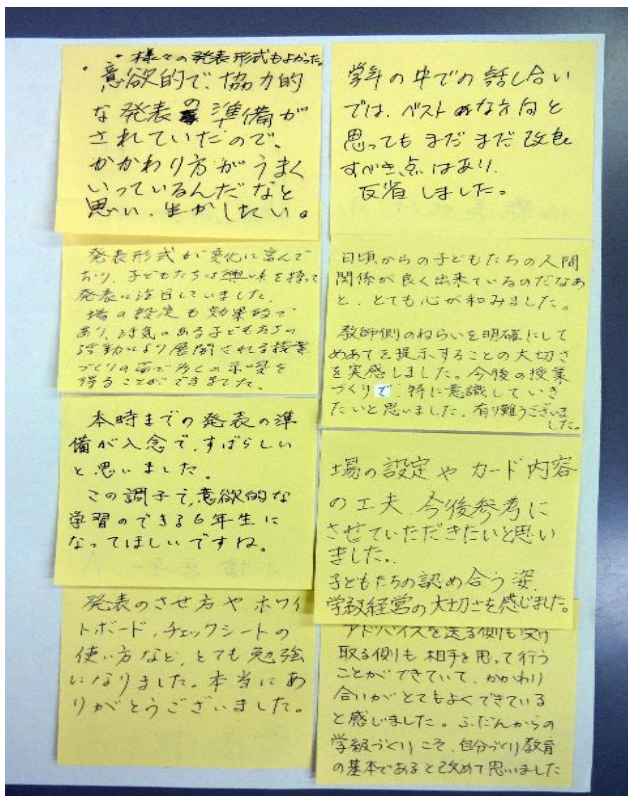
振り返り方法と留意点

学び合い付箋紙

- ・低・中・高学年各1クラスの全教職員参加の授業検討会と自由参加研修の際に学び合い付箋紙を配布。
- ・学んだこと、今後に生かしたいことについて記入する。
- ・研修後に参加者に配布し、すぐに記入してもらう。
- ・学び合い付箋紙により、受講者の振り返りと講師の励みとなるものとする。
- ・集まった付箋紙をデジタルカメラで撮影し、授業提供者や研修の講師にプリントして渡すとともに、職員会議資料に載せて、学んだことの共有を図る。
- ・学んだことを振り返ることで、来年度は「こういうことなら自分も講師としてできそうだ」という次年度につながる意識を高めることができる。



授業検討会の様子



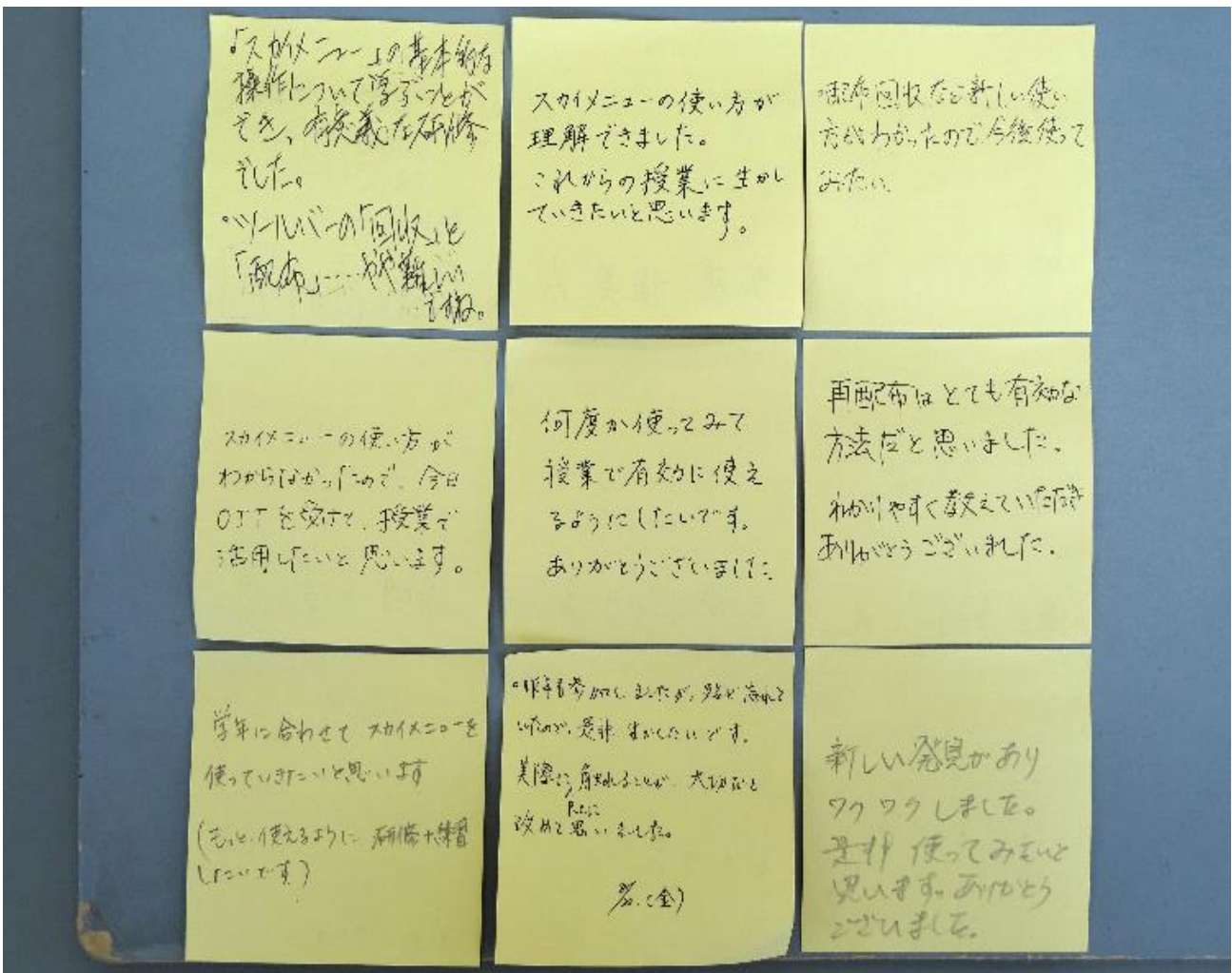
授業検討会後の付箋紙（抜粋）

- ・研修会後すぐに記入することで、自分の学びについて新鮮な思いを書くことができ、振り返りとして有効である。
- ・付箋紙1枚なので、短時間で記入することができる。
- ・デジタルカメラで撮影し、職員会議の資料とすることで、学んだことの共有化を簡単に図ることができる。
- ・授業検討会後は、記入の観点を指定することで視点の定まった振り返りとなると思う。今後検討してみたい。

自由参加研修と学び合い付箋紙の例



スカイメニューの使い方





縄跳びの指導法

なわとびの指導法の知識がほとんどなかったため、大変参考になりました。板も活用していきたいと思えます。

体育は「スモールステップ」なので、という言葉にハッとさせられました。縄跳びの指導はとて難しいと感じていたため、苦手意識の強い子どもには、まずジャンプのタイミングからつかませたいなと思います。

二重とびのリズムのとり方が参考にになりました。

さらに、「目で見て止まったら前足を入けて…」のやり方も参考にしました。

なわとびの楽しさを少しでも感じられるような指導をしたいと思いました。まずは自分で練習します。おかげさまでありがとうございました。

返しとび、子どもたちにもマスターさせたいです。手の位置、腕の回り方などを分解して、くり返し見せることで子どもたちはだんだんコツをつかんでいくのだと思います。できる喜びをたくさん味わってほしいと思います。

「かえし跳び」のやり方がわかりました。子供に教える際のポイントもよくわかりました。「リズムが大切」ということがわかりました。



読み聞かせの仕方

